

むさし野

No. 54

事務局 〒350-0822 川越市山田914-9 石井方
 電話・FAX 049-225-2466
 E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp
 ホームページ: <http://www.longview.jp/musashino/>

「新年度を迎え」

会長 石井 満

「法政むさし野会」と共に歩んでもう12年が過ぎました。随分たくさんのお話を学ばせて頂きました。総会の講演会、年に2回の勉強会、神宮の集い「東京六大学野球観戦」、その後の飲み会は幅広い分野の話題、ダジャレや笑談。皆さん学び方も違えば人生も違う。ただ共通していることは法政大学が母校であるという事。

会の現状を少しお話させて頂くと、現在会員は43名です。会費納入は100パーセントです。しかし毎年法政大学卒業生連携課から案内を出して頂いている埼玉県在住の通教卒業生への勧誘に対する反応が年々微弱です。卒業生の環境の変化、例えば大学卒業資格を取るといふ事もあるでしょうが、既に学位は持っているが専門分野に編入して学び直したいとか、定年退職後もう一度学び直したいとか単に学位を取ろうという事ではないようです。

会の活動は、昨年秋の勉強会「こしがや能の鑑賞と庭園めぐり」と冬は影山五月会員による「シニアボランティア」からの視点という題で講演を行って頂きました。「能」は日本の古典芸能の真髄である幽玄の世界を堪能致しました。能鑑賞を「会」で催行できたことは感慨深いものがありました。まして、地元埼玉県にかくも立派な能楽堂と庭園あるなんて驚きでした。影山さんの諸外国での活動は前から興味があったので一度聞いてみたいと思っておりました。素晴らしい生き甲斐をお持ちだと思いました。これからも体調管理に留意され出来るだけ長く続けられることを願っています。

最近読んだ本のタイトルに『死ぬまで健康でいられる5つの習慣』『身近な人に迷惑をかけない死に方』があ

ります。2冊とも同じ著者で、著者の家族の方から頂いたものです。タイトルから推測できるように、これは脳外科医が著した本です。内容は癌や脳梗塞に罹らず、如何に健康長寿を保つかと言う内容でした。日本は世界一の長寿国ですが、健康寿命は男性71歳、女性74歳だそうです。その後の平均寿命（男性80歳、女性86歳）まで約10年間、介護のお世話になるそうです。これも平均ですが、この介護を必要とする10年間を如何に短くするか、という内容でした。その健康寿命を延ばすための5つのアドバイスがありました。特にいいなあーと思った2つを述べますと。1番は、人生にわくわくするような目標を持つ。2番目に、容姿に気を配る、でした。



本を読んで多少健康について雑学を増やしたところで、普段の生活習慣が変わるものには有りませんが、ほんの少しだけ酒を控え、体操をするよう心掛けるようになりました。平成27年度総会で講演をして戴いた北沢先生の言われるように「金持ちよりも、人持ち」をモットーに日々在りたいと思い、健康で体が動く内に出来るだけ多くの食・旅・人との交流を楽しみたいと考えています。

実際に地元の自治会、ソフトボール、文化クラブ等に

参加交流してみると「法政むさし野会」の会員の博学、所謂レベルの高さを知る事が出来、随分様々なことを学ばせて頂いた、と痛感致します。

法政むさし野会は成熟した会に成りました。是非総会にご出席ください。そして、「茶話会」で貴方の近況を報告して下さい。お待ちしております。

法政むさし野会は成熟した会に成りました。是非総会にご出席ください。そして、「茶話会」で貴方の近況を報告して下さい。お待ちしております。

定期総会のお知らせ（詳細は4ページをご覧ください）

2016 (平成28) 年度定期総会を下記の通り開催いたします。会員各位のご出席を頂きたくご案内いたします。

・日 時 2016年6月5日(日) 13時30分～17時00分
 ・場 所 武蔵浦和コミュニティーセンター 8階6号室

*5月20日まで同封のハガキにて出欠連絡をお願いします

■ 第1号議案2015（平成27）年度活動報

1. 定期総会の開催
 - ・定期総会：15年6月7日（日）、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
提出4議案（14年度活動報告、14年度決算及び会計監査報告、15年度活動方針案、15年度予算案、を原案通り可決承認。出席者：19名
2. 役員会の開催
 - ・第1回役員会：15年 6月7日（日）、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
 - ・第2回役員会：15年10月25日（日）、於：越谷市・花田苑内休憩所
 - ・第3回役員会：16年 2月7日（日）、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
※鹿野幸作会計監査退会(15年12月)に伴う後任人事案件審議。後任：宮川幸佳氏。
3. 会報の発行
 - ・会報「むさし野」第51号：15年5月5日「定期総会開催告示他」
 - ・会報「むさし野」第52号：15年9月15日「定期総会報告、会員の声他」
 - ・会報「むさし野」第53号：16年1月15日「会員・エッセー4点他」
4. 研究発表会・見学会の開催
 - ・第29回(見学会)：「こしがや能の鑑賞と庭園（花田苑）巡り」：15年10月25日（日）、
於：こしがや能楽堂、『こしがや能「第23回 秋の調べ」』鑑賞。参加者：9名
 - ・第30回(研究発表会)：16年2月7日（日）、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
[発表者] 影山五月会員『「シニアボランティア」からの視点』（シニア日本語教師の見たアジアの国）。
参加者：16名
5. 講演会の開催
 - ・定期総会記念講演会：15年6月7日（日）、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
演題：『笑いを探る一笑いの話で笑い愛 ささえ愛』講師：彩の国いきが大学講師・北沢正嗣氏。参加者：19名
6. 法政大学校友連合会主催事業への参加
 - ・第23回法政大学全国卒業生の集い「愛知大会」（名古屋市）：15年11月7日（土）、
於：ウエスティンナゴヤキャッスル。参加者：4名（内、1名他団体での参加）
 - ・2016年オール法政新年を祝う会：16年1月23日（土）、於：ホテル・グランパシフィック LE DAIBA
（東京都港区）。参加者：6名（内、3名他団体での参加）
7. その他
 - ・14年度通信教育部卒業生（埼玉県出身）への入会勧誘文書・会報等による入会勧誘活動の実施。
 - ・法政大学関係先及び法政大学校友会地域支部・学部同窓会等への会報の送付。
 - ・その他、会員名簿の作成・配布及びホームページ掲載等。

■ 第2号議案 2015（平成27）年度収支決算及び監査報告

1 収支決算書

収入の部 自 2015(平成27)年4月1日 至 2016(平成28)年3月31日

支出の部 自 2015(平成27)年4月1日 至 2016(平成28)年3月31日

科目	予算額	決算額	備考
繰越金	52,484	52,484	
会費	94,000	86,000	43名
会合参加費	50,000	44,500	勉強会等会合参加費
雑収入	3,516	2,315	寄付受取利息
合計	200,000	185,299	

科目	予算額	決算額	備考
会場費	5,000	450	雑費等
通信費	30,000	25,400	送料等
総会費	30,000	21,087	講師謝礼等
印刷費	40,000	40,176	会報印刷費等
事務費	10,000	1,974	コピー代等
勉強会費	50,000	37,400	講師謝礼・資料代等
予備費	35,000	0	
次年度繰越	0	58,812	
合計	200,000	185,299	

2 会計監査報告

法政むさし野会 会長 石井 満殿

法政むさし野会の平成27(2015)年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）収支計算及び付属書類について、2016年4月1日に監査を行った結果、何れも会則に従い会計処理は適正に実施されている事を認めます。

会計監査 小林 薫 ㊟
会計監査 宮川 幸佳 ㊟

■ 第3号議案 2016(平成28)年度活動方針(案)

本会の目的を達成するために、昨年度同様「会員による研究発表・歴史文化施設の見学会等」の開催、会報「むさし野」の発行を主たる活動に、その他、母校法政大学及び会員の協力の下、入会勧誘活動を展開して行きます。また、卒業生として法政大学校友会並びに学部同窓会・地域支部等との情報交換、それらの行う諸事業に参加・協力して参ります。

- 1 定期総会の開催(6月5日) 2016(平成28)年度 定期総会
- 2 役員会の開催 定例会を年3回
- 3 会報の発行 年3回(5月、9月、1月)発行
- 4 研究発表会及び現地散策の開催 年2回(10月、2月)実施
- 5 講演会の開催(定期総会時) 講演者:村串仁三郎・法政大学名誉教授
- 6 法政大学校友会主催事業への参加
 - ・東京六大学野球観戦「神宮の集い」春・秋リーグ
 - ・第24回法政大学全国卒業生の集い 京都大会(11月11日～13日)
 - ・2017年「オール法政新年を祝う会」(1月28日)
 - ・その他 箱根駅伝の応援等
- 7 新規会員の勧誘 法政大学卒業生・後援会連携室及び会員の紹介による勧誘活動の展開を図る
- 8 その他 ホームページの充実、会員名簿の配布・連絡通信体制の整備(メール、ファックス等による)

■ 第4号議案 2016(平成28)年度収支予算(案)

収入の部 自2016(平成28)年4月1日 至2017(平成29)年3月31日

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
繰越金	58,812	52,484	
会費	86,000	86,000	43名
会合参加費	50,000	44,500	勉強会等会合参加費
雑収入	5,188	2,315	受取利息・寄付
合計	200,000	185,299	

支出の部 自2016(平成28)年4月1日 至2017(平成29)年3月31日

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
会場費	5,000	450	雑費等
通信費	30,000	25,400	送料等
総会費	30,000	21,087	講師謝礼等
印刷費	40,000	40,176	会報印刷費等
事務費	10,000	1,974	コピー代等
勉強会費	50,000	37,400	講師謝礼・資料代等
予備費	35,000	0	
合計	200,000	126,487	

■ 第5号議案 役員改選、顧問の指名(敬称略)

現在の役員・顧問は全員留任
 役員変更 宮川幸佳 会計監査
 新役員 加賀谷恵子 幹事

法政大学へ編入、卒業してよかった!

藤尾祐子(入間市)

この度は「法政むさし野会」の会報へ寄稿の機会をいただき誠にありがとうございます。

私は2012年9月に法政大学を卒業しました。9月卒業でしたが、3月の武道館の卒業式にも念願の袴で参加して喜んでいたら早3年半が過ぎ、時間が経つのは大変早いと、この寄稿を書いていると思いました。

私は一度他の大学を卒業した後に会社勤めの傍ら法政大学に編入しました。法政大学に編入した理由としては2点あります。1つ目は当時社会保険労務士の勉強をしており法律の知識を身につけたかったことです。2つ目は母方の祖父が法政大学を卒業している点です。幸い、在学中に社会保険労務士も合格することができました。

また、在学中に母方の祖父の父の実家にはじめて行きました。その際に、母方の祖父以外にも母方の曾祖父の実家を継いでいる方も同じ法政大学のしかも通信教育部の出身であるのを在学中に知り、大変うれしく感慨深いものがありました。

*

通教を卒業する際には一度卒論を落ちてしまい、結果として二度も書きました。当時は卒論が卒業には必須で、執筆中は2万字という膨大な長さが大変でした

が、今思えば、卒論を書いて卒業して大変よかったと思っています。現在は普段何か物を書く際に、卒論執筆以前よりも書くことが苦しくなくなり、大変自信になっています。

*

法政大学に編入してよかったと思うことも多々あります。法政大学では地方スクがあり、その際にはじめて地方に1人で行きました。その後も1人で旅行に行くこともできるようになり、大変度胸と自信がつけました。また、ちょうど在学中に会社の出張経費の削減を実施していたことも相まって、いかにしておトクに旅行に行くためにどうすればいいかを考えるようになり、JRの乗車券について往復割引や100キロを超える途中下車が可能であることも知ることができ、おトクに旅行にも行くことができるようになりました。その他にも、法政大学を卒業できたことで、同じ社会保険労務士の仲間から法政社労士会を設立し、誘っていただくことにもなりました。

*

今後も法政大学の卒業生としての誇りを持って生きていきたいと思ひますし、むさし野会の活動にも参加していきたいです。

記念講演の講師は 村串 仁三郎 法政大学名誉教授

『フレンドシップの経済学・日本の鉱夫のフレンドシップの場合』

■ 定期総会スケジュール

日時 6月5日(日) 13時30分～17時00分
場所 武蔵浦和コミュニティセンター 8階6号室 (JR武蔵野線・武蔵浦和駅前)
第1部 総会 13:30～13:55
議事 第1号議案 2015年度活動報告 第3号議案 2016年度活動方針
第2号議案 2015年度収支決算及び監査報告 第4号議案 2016年度予算
第5号議案 役員改選、顧問の指名
第2部 講演会 14:00～15:30 講演終了後写真撮影
第3部 茶話会 15:40～17:00 (自己紹介を兼ねて近況を3分程度でお話下さい)

*会場費として500円当日徴収させていただきます * 役員は時12分50分よりの役員会にご参加願います。

「シニアボランティアからの視点」 影山五月会員が発表 2月の勉強会

2016年2月7日(日)、武蔵浦和のコミュニティセンター808号室で開催。冬晴れの中、参加者は16名。冬の勉強会は毎年、会員の日ごろの活動を披露してもらおうという企画ですが、今回は影山五月さんです。テーマは「シニアボランティアからの視点」です。影山さんの海外での活動ぶりはこれまでも会報に寄稿していただいています。この日は5回にわたるアジアの国々での日本語教師という活動についてその内容、ご苦労、楽しさを語り、さらに海外滞在から見たその国の実情、現代日本との違いなども話されました。

その活動を時系列にすると、次のようになります。

- ①マレーシア キャメロンハイランド(2006年)
- ②ベトナム ホーチミン・ダナン(2007-2008年)
- ③中国 大連(2009-2010)
- ④中国 南京(2010-2012)
- ⑤フィリピン オーダネータ(2013-2015)。

いずれも日本との関わり合いが古く、現在も双方にとってとても大事なアジアの国々と地域ばかりです。

こうした場所で日本語を必要としたり日本語を学ぼうとしている若い人たちに生きた日本の言葉を教えるという仕事は本当の



国際貢献であると思います。参加した会員のみならず一同が感動し、また今回の講演では、参加した会員と一緒に国際問題？を話しあうよい機会にもなりました。ありがとうございました。

第2部では恒例の参加者による意見・近況報告。全員が短い時間ながら個性をにじませたスピーチを行いました。今回は比較的短い内容が多かったような気がしますが、予定の5時まで続けました。この後の自由参加の懇親会では会場がレストランだったこともあり女性会員も参加して楽しい会話の時間が流れました。

「オール法政新年を祝う会2016」を開催

1月23日(土) ホテル・グランパシフィックに於いて「オール法政新年を祝う会」が1000名近い卒業生が参席して盛大に挙行された。注目の田中優子総長の祝辞は①バス事故で亡くなった法政大学の学生達の事を思うと無念で仕方がない。学生達の安全確保に全力で取り組む②法政大学が世界の大学を目指していることを明確にする、と述べられた。その後、埼玉県上田知事の明るい挨拶で、今年一年の健康と幸福を願い乾杯した。

暫く歓談の最中に突然アナウンスがあり、菅内閣

官房長官がSPに警護されて駆けつけ登壇された。祝辞は政治的な挨拶は一切無しで「在校生の頃の思い出や、然る政治家の秘書になれたのは法政大学の恩師の紹介である」と懐かしんだ。挨拶も早々に再びSP警護の下退席された。政治家とは斯くも忙しいものだ。当会からの参加3名は、ゆったりとご馳走と隣の席の方々と会話楽しんだ。(石井)

<退会者(敬称略)> 鹿野幸作・吉野晴康

◆ことば◆

初夏の空気を感じるこの季節、楽しみにしている手仕事に梅干し作りがあります。▼梅干しには多くの効能があり、特に申年に作られた梅干しは、「縁起がよく、健康長寿にもよい」と伝えられてきました。これは、平安時代に「村上天皇が、申年の梅干しで病気を治した」ということ由来するものです。▼三十五才で生涯を閉じた子規は、一個の梅干しを二度も三度も味わって楽しんだと病床での日記に書いています。▼一個の梅干しをいとおしむ想いは、若くして病に倒れた子規の心をひとときでも忘れさせてくれたのかもしれない。▼残念ながら現在では、家庭で漬けられることは少ないようです。▼「梅干しや 庭にしたたる 紫蘇の汁(子規)」 (榊原)